

【単元のポイント】

角とその大きさ

4年生 算数 第4単元

学習指導要領（平成29年告示）の目標

【B 図形】B(1) 平面図形

角の大きさを回転の大きさとして捉えること。角の大きさの単位（度（°））について知り、角の大きさを測定したり、必要な大きさの角をかいたりすること。

◆ 評価の3観点における目標

【知識・技能】

- 角の大きさを回転の大きさとして理解している
- 角の大きさの単位「度（°）」を知っている
- 分度器を使って角の大きさを測ることができる
- 分度器を使って指定された大きさの角をかくことができる

【思考・判断・表現】

- 角の大きさを比較して説明できる
- 三角定規の角の大きさを組み合わせて考えることができる
- 180° より大きい角の求め方を説明できる

【主体的に学習に取り組む態度】

- 身の回りの角の大きさに関心をもっている
- 分度器を正しく使おうとしている

◆ 指導上の留意点（学習指導要領解説より）

1. 角の概念

- ・角は「2つの辺が開く大きさ」であり「回転の大きさ」である
- ・辺の長さは角の大きさに関係しないことを理解させる
- ・直角を基準として、直角より大きい・小さいを比較させる

2. 分度器の使い方

- ・中心を角の頂点に合わせる
- ・ 0° の線を一方の辺に合わせる
- ・目盛りを正しく読む（内側と外側の目盛りに注意）

3. 三角定規の角

- ・直角三角定規： 30° 、 60° 、 90°
- ・直角二等辺三角形： 45° 、 45° 、 90°
- ・組み合わせて様々な角度を作れることを理解させる

4. つまずきやすいポイント

- ・分度器の内側と外側の目盛りを間違える
- ・ 0° の線を辺に合わせ忘れる
- ・ 180° より大きい角の測り方がわからない
- ・辺の長さと角の大きさを混同する

◆ プリント作成時の配慮事項

1. 図の正確さ：角度が正確に描かれた図を使用する
2. 分度器の使い方：分度器の置き方を丁寧に説明
3. 段階的な角度： 30° 、 45° 、 60° 、 90° など基本的な角から
4. 作図問題：指定された角を実際にかく問題を含める
5. 三角定規：三角定規の角度を使った組み合わせ問題